

授業科目(ナンバリング)	博物館資料論(CB215)			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
資料は、博物館の骨格を形成するものである。また、研究機関・教育機関としての博物館の最大の特徴は、資料である「もの」を媒体とする点である。博物館資料論は学芸員の資格を取得するための必修科目であり、学芸員課程の基礎的かつ重要な科目であることから、十分に理解しなければならない。資料の特性、作成、保存、活用についての理解を図る。授業の導入において、講義のポイント及び問題提議を示し、授業内で解決方法を見出していく。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	博物館を見学し、博物館資料に関して多角的に討議できる				小テスト	30%	
情報収集、分析力	資料に適した博物館資料製作方法を分類できる。				レポート	60%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	博物館資料の概念と種類を説明できる。				授業態度・授業への参加度	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価はレポート 60%、小テスト 30%、授業態度・授業への参加度 10%の配分で行う。定期試験はレポート提出により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。小テストはそれまでの授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを評価基準とし、ポートフォリオで課題のフィードバックを行う。							
授業の概要							
博物館資料の基礎的知識の修得を目指す。それら基礎的知識に立脚し、現代博物館の求められる博物館資料の基本理念を、資料の収集・保存・展示・教育活動・調査研究等から概説する。授業はパワーポイントを使用した講義形態とする。学芸員による地域文化財に関する講義を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。 参考書：青木豊編『人文系博物館資料論』雄山閣（2013）。 指定図書：青木豊編『人文系博物館資料論』雄山閣（2013）。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
博物館資料論は、学芸員資格を取得するための必修科目である。日頃より博物館を見学し、博物館を身近なものにすることを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食をする者は退室していただく。及び理由のない遅刻・途中退出は認めない。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	博物館資料の概念。資料の絶対価値と創造価値について説明する。	博物館の資料を見学しておく。一次資料の予習。
2	資料の種類Ⅰ	一次資料の資料名称と特質、学術価値を説明する。 (普通標本・乾燥標本・剥製標本・さく葉標本・プレパラート標本)	一次資料の復習と一次資料製作法の予習。
3	資料の種類Ⅱ	一次資料の資料名称と特質、学術価値を説明する。 (樹脂含浸標本・プラスチック・液浸標本・土層剥ぎ取り標本)	一次資料製作法の復習と二次資料の予習。
4	資料の種類Ⅲ	二次資料の資料名称と特質、学術価値を説明する。 (模写・写真・拓本・実測図・映像)	二次資料の復習と二次資料製作法の予習。
5	資料の種類Ⅳ	二次資料の資料名称と特質、学術価値を説明する。 (模造・模型・レプリカ)	二次資料製作法の復習とレプリカ資料の予習。
6	レプリカ論	レプリカ資料の意義と必要性を説明する。 二次資料製作の理念と具体性を紹介する。	レプリカ資料の復習と遺構の博物館化の予習。
7	博物館資料化Ⅰ	遺構の博物館資料化について説明する。	遺構の博物館化の復習と高松塚古墳の予習。
8	博物館資料化Ⅱ	高松塚古墳の博物館資料化について説明する。	高松塚古墳の復習とジオパークの予習。
9	博物館資料化Ⅲ	自然系資料の製作(ジオパーク)について説明する。	ジオパークの復習と剥製標本の予習。
10	博物館資料化Ⅳ	自然系資料の製作(剥製標本)について説明する。	剥製標本の復習とさく葉標本の予習。
11	博物館資料化Ⅴ	自然系資料の製作(さく葉標本)について説明する。	さく葉標本の復習と資料分類の予習。
12	資料の分類方法	収蔵資料の分類方法を説明する。	資料分類の復習と野外博物館の予習。
13	コレクションの形成	資料の6大収集方法について説明する。	収集方法の復習と全体の見直し。
14	博物館の専門資料Ⅰ	波佐見町の学芸員による地域文化資源に関する講義を行う。(ゲストスピーカー・実務家)	地域文化資源の復習と予習。
15	博物館の専門資料Ⅱ	波佐見町の学芸員による地域文化資源に関する講義を行う。(ゲストスピーカー・実務家)	地域文化資源の復習と予習。
16	定期試験	レポート	レポートの準備